

楽園だより



今までの暮らしが変わる。玄関から、ほっとする家。

2022年 3月1日 No.65

Our Works

UA=0.33W/m²K C=0.3cm²/m²

『家族が仲良く暮らせる家』 (中津川市)

2021秋 完成



お施主様の声

家づくりの計画を始めたのは2019年からになります。
ハウスメーカーや工務店を巡っていたところQ1住宅という物を知り、楽園住宅さんへ説明を聞きに行きました。最近吹付け断熱を良く見るのですが、グラスウールを使い自社大工で施工されている点と、断熱気密や耐震に力を入れている所から楽園住宅さんを選びました。家の間取りを決める時はSNSなどで情報を集めて間取りを決めて行きました。何回も間取りを変更したので設計士さんにはとてもお世話になりました。設計士さんにもアドバイスをいただき満足する間取りが出来上がりました。家が着工になると、だんだん家が出来上がって行くのを見るのが毎日の楽しみでした。大工さんの仕事を見ていると、とてもスムーズで丁寧な仕事をされているように見えました。こちらから声をかけると色々説明してくださり、造作家具の細かい所の変更にも対応していただきとても使いやすい物になりました。まだ住み始めてから少ししか経っていませんが、家の中の温度がどこでも一定なので冬でも朝布団から出る時の億劫さがありません。子供達も今の家では裸足で走り回っています。最後になりますが、家の計画から完成まで長くなりましたが、一生に一度の事なので時間をかけて良かったなと思います。家づくりがとても良い思い出になりました。楽園住宅の皆様へ感謝致します。ありがとうございました。



担当者から



最初にモデルハウスにお越しいただいてから、原様との家づくりがスタートしました。ご自身でも家づくりに関してよく勉強されており、私よりも弊社のHPの中身を知り尽くしていました(笑)。完成物件も見学いただき、ご自分でも何通りも平面プランを考案し、プランから仕様決めまでじっくり時間をかけてつくられましたね。出来上がった間取りは、将来を考えて1Fに寝室にも使える個室があり、ご主人様、奥様それぞれのプライベートコーナーに、玄関、キッチン、寝室のそれぞれに充実した収納スペース、たくさんのご家族が集っても大丈夫な玄関にリビングと、ご家族一人ひとりでも大勢集っても、現在でも将来でも安心して楽しめる空間が詰まった間取りとなりました。たくさん考えて悩んだ分、これからの生活を楽しんでいただきたいです。梅本



木造の新築共同住宅初のパッシブハウス認定を目指す！ 木造大型パネルついに上棟！



上図：完成イメージパース (写真は建て方の様子)

木造大型パネルを用いた共同住宅がついに着工しました。棟上げでは50tのクレーンを使って最大縦2.9メートル横4.6メートルのパネルが次々と吊られて、あっという間に組み上がっていくので驚きです。本来なら上棟から30日間かけて施工する木工事が、たったの3日間で施工完了です。それは30日間かけて施工する工程をパネル組立工場で柱、梁桁、間柱を組み耐力面材を貼り、木製サッシ、充填断熱、付加断熱を取付け外部の透湿防水シートを貼り外部胴縁まで取り付けた状態で現場に届くからです。1枚のパネルが設置されるまでに掛かる時間が約5分です。トラブルもなく順調に工事が行われました。大工さんも初めて見る木造大型パネルに驚いていましたが、仕事にかかれれば経験しているかのように組んでいく姿に職人魂を感じました。

上棟に合わせて「大型パネル施工見学会・セミナー」を開催しました。地域の工務店や行政、県外からも総勢70名近い方が見学にみえました。これだけ大型パネルが注目されているのは、建築業界の課題である工期短縮、大工の高齢化、大工の不足が要因となります。住宅の高断熱化が進むに連れて大工に負担の掛かる現場作業が増えることで、事故や怪我に繋がるリスクも高くなります。施工品質の均一化等、様々な問題を解決する大型パネルを地域材の活用も合わせて真剣に取り組んでいきたいと思っております。



楽園住宅

エアコン1台で家中どこでも快適な空間をぜひ体感して下さい

体感見学随時受付中！

恵那市長島町正家一丁目5番地5
TEL 0573-26-5122

楽園住宅



家を建てて、20年経って思うこと

家は3度建てないと理想の家にならないと言うけれど

恵那市I様邸

家は3回建てないと満足しないと言われる。

楽園住宅のモデルハウスを見た時「あ、これで1回建てたことにして、ここから我が家向けに直せる」と思いました。図面では平面でしか想像できないけど、モデルハウス日参して、この部屋の棚は我が家は天井までにしようとか、この部屋は仕事部屋にするから掃き出し窓はやめておこうとか、このスペースはクローゼットにして、壁は安物の合板でいいやとか、この階段の幅は70cmか、ちょっと狭い気がするから90cmにしようとか。いろんな箇所、具体的に我が家モードがよく見えるようになりました。

おかげで家の中で不満に感じる場所は、ほとんどないと言っていいくらいです。

I様邸 奥様



家の中 (○良かった点 △しまったと思う点)

○ 天然木の包まれた家は古くなくても味わいがある

なるべく壁紙を使わず、漆喰にしたことが良かったと思います。建てた当時より、20年後の今の落ち着いた床や腰板の木の色合いが好きです。初めて来た人に、築20年と言うと驚かれます。



○ 1階母の部屋(今は私の部屋)と2階客間の戸に防音マットを入れたこと

喧嘩した時や下手なエレクトーンを練習するのに、自分の部屋にこもれるのがありがたい。2階の客間で寝坊する人に気兼ねなく、下で朝から大騒ぎできます。家全体が壁の少ないあけっぴろげな間取りだからこそ、雑音の聞こえない空間が大切だと思います。

○ 床材にパイン材を選んだこと

硬くてキズのつきにくいナラ材が床にはベストだったかも。確かに柔らかいパイン材はキズがつきやすいです。でも、腰痛持ちの私が何時間でもキッチンで料理できるのは、腰に優しいパイン材のおかげです。たかが床材でそんなに違いがあるか、と思う人は腰が痛くないでしょう。また冬の夜中にトイレに行く時、裸足で歩いてパイン材は全然冷たくない。そのまま洗面所に行く、合板の床の冷たさにびっくりします。そのぐらい違います。



△ トイレの壁を木にしたこと

「小便器の周りはおしっこが飛び散るから、木はやめたほうがいい」と設計士さんからアドバイスをいただいたのに、聞く耳を持たなかったことを激しく後悔しています。

○ 2階のトイレ

なくてはならない設備です。昔は客のため、今はおしっこが近くなった夫のため。

△ ロボット掃除機、ルンバが使えないこと

部屋の隅にある換気口(通気口)にルンバがいつも引っかかって止まり、最後には壊れてしまった。換気口のない2階の部屋専門になりました。



○ 洗面脱衣室のベンチ

ベンチの中は洗剤、タオル、ドライヤー、石鹸などたくさん入る。このおかげで風呂場に余計な棚などがいらぬ。母はいつも座って体を拭き、座ってパジャマを着ていた。あと何年かしたら、私もこのスタイルになります。

外回り (○良かった点 △しまったと思う点)

○ 1階のデッキの階段の高さを少し低めにしてもらった

20年前に来た友人が「えらい年寄り向けの階段やね」と2段飛びで昇っていたが、その人も今は80歳を過ぎてその高さがちょうどよくなった。高齢になってわかる階段の高さです。

○ 家の周りのウッドデッキは普段の暮らしにとっても便利です

雨の日でも隣の納屋へ傘なしで行ける。夏の強い陽ざしが入らない。玄関前のデッキは傘をたたんだり、雪を払ったりするのに具合がいいです。そうそう留守の時に宅急便の荷物を雨の中、心配なく置いてもらえるのもありがたいな。



△ ウッドデッキ

1階のデッキは木製で、腐食防止済みの材にペンキも塗ったから、少々の雨なんか平気だと観葉植物の鉢植えを並べ、夏中毎日水やりして20年。やはり木は腐った。当たり前か。むしろ良く持ったというべきかしら。

△ 高齢者配慮

当時72歳の母の部屋へ外から入れる道があり、老化防止のために「毎日昇り降りの練習をする」と言うので4段の階段を設置したが、わずか1年後には取り払ってスロープに替えた。階段の昇り降りは高齢者には難しい動作だと痛感。スロープにしてからは、その後数年間は杖をつけて歩いていました。

△ 東側の雨戸

東側の雨戸はまったく必要のないものだった。隣に屋根付きの堆肥場を作ったから、雨風が強くても雨戸を開める必要がないから。設計の段階でよく考えれば良かったことだった。



○ 2階のテラス

布団を干すのに重宝しています。来客が多いので、下まで持つのは面倒だから。

△ 庭づくり

家の設計ばかり気にして、花壇についてまったく無関心だった。いざ花を植えようと土を掘ったら、すぐグリ石。植物を植えるために土を入れたが、あまり入れると地面が高くなり、水の流れが家の土台のほうへ行く心配をすることになってしまった。

△ 板張りの外壁

板を打ち付けている釘がステンレス製なので、夏冬の板の反りに反応して釘が浮き上がってくる。昔は鉄製の釘が錆びて板の反りを抑えたいが、ステンは錆びないから毎年秋に金槌で浮いた釘を叩いています。

I様と初めてお会いしてから早や22年が経ちます。奥様が楽園住宅のモデルハウスを気に入ってくださり、I様家仕様にアレンジした設計にしたいとのご要望で、若輩ながら私が担当させていただくこととなりました。

「どんなふうに暮らしたいか」の構想をしっかりとお持ちで、私をご提案すると「それならできる」「それならやるわ」と気持ちの良いお返事で、打ち合わせの時間が楽しみでなりません。外壁の杉板も「自分の家を建てるんだと実感したい」と、260枚もの杉板

を全て2回塗りされました。床も全部奥様が塗装され、22年経って落ち着きのある色合いになった床板は味わい深いです。

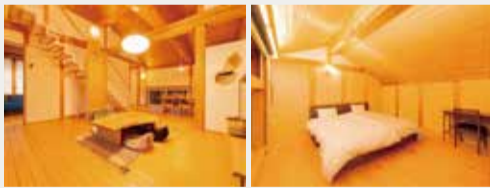
右上のイラストはその当時のご家族皆様の似顔絵です。上棟式では、このイラストを高々と掲げました。

普段から来客の多いI様邸。とっても心地いいのはこの家と相性ぴったりなI様のお人柄と雰囲気があるからでしょう。

谷宮

年中快適

宿泊体験
モデルハウス
のご案内



住所: 恵那市長島町正家一丁目11番地1

楽園住宅

長く暮らす「家」だからこそ 住み心地を体感しよう!

無料宿泊体験できます!



3月は花粉症に悩まされる方が多いと思います。この中で花粉が一番付着しにくい服の素材は次のうちどれでしょうか?

① ウール ② 綿 ③ 絹

答えは楽園住宅ホームページをご覧ください

楽園住宅



『ドイツパッシブハウス認定
コンサルタントのいる工務店』

恵那市長島町正家一丁目5番地5
TEL 0573-26-5122

楽園住宅

公式LINEはじめました!

@azj8127w



ご意見・ご質問ございましたら、なんでもお問い合わせください!! また、こんな事本気でやって欲しい! ということがございましたらぜひ、リクエストお願いいたします。